

# 子どもたちに豊かな教育環境を！ 中学校に冷水機設置、机・椅子の交換を…

## 日本共産党 補正予算“修正案”提出

9月市議会

**後期高齢者医療制度の見直しを求める「意見書」全会一致で可決  
日本共産党提出の「沖縄戦」をめぐる教科書検定意見の撤回を  
求める意見書」多数で可決！**

07年度第3回町田市議会定例会が、9月4日～10月10日まで開かれました。参議院選挙の自公大敗のあとの政治情勢が大きく変化する中、議会初日には、後期高齢者医療制度の見直しを求める「意見書」が全会一致で可決。最終日、日本共産党提出の「沖縄戦」をめぐる教科書検定意見の撤回を求める意見書」が多数で可決されました。日本共産党は、一般会計補正予算について、財政調整基金への積み立ての一部を中学校の机・椅子の交換、冷水機設置に回すべきと予算修正案を提出しましたが、自・公・民・社・ネットの反対で否決となりました。

来月4月実施予定の「後期高齢者医療制度」は、75歳以上のすべての高齢者から年金天引きで高い保険料を徴収するなど、市民の中に不安が広がっています。こうして声を上げて町田市議会に波及び、多くの議会に波及し、多くの意見書が上げられました。

### 「市税条例修正案」独自に提出

今年6月、定率減税の廃止などで市民税が大幅に上がりました。今まで非課税だった人が課税となるなど、市民の暮らしを直撃しました。

日本共産党市議団は、市民への増税を軽減するために「市税条例の一部を改正する条例」を提案しました。現在市税条例の減免対象は、収入が皆無になった人などに限られています。修正案は、前年の収入が生活保護基準の1・1倍程度であれば、減免の対象とする提案です。企画総務常任委員会が審議されましたが、継続審査となりました。

### 市民の暮らし優先の市政を

一般会計補正予算は、昨年度決算で確定した剰余金約21億円のうち18億980万8千円を財政調整基金に積み立てる提案ですが、日本共産党の修正案は、積立金の一部を活用し、



●07.10.22 厚生労働省との交渉に参加した党町田市議団（4面に関連記事）

も日本共産党提出の「沖縄戦」をめぐる教科書検定意見の撤回を求める意見書」が、多数で可決されました。

中学校の机・椅子交換（4370万円）や、熱中症予防のための冷水機設置（1800万円）を支出し、子どもたちの豊かな教育環境を求める予算修正を行いました。

介護保険事業会計補正予算については、昨年度決算で生じた15億円の剰余金のうち約8億円の基金積み立てを行うことになったのは、介護保険料の値上げや、ホテルコスト導入による市民負担増、ベッドの取り上げなどサービス削減の結果だと反対しました。

「市営住宅条例の一部を改正する条例」について、日本共産党は、親子間の承継をなくし、「住宅難民」を生み出すことや、暴力団排除に名を借りた住民へのプライバシー侵害であること、また、募集管理業務などを指定管理者として都住宅供給公社に委ねることは、公共住宅に対する市の責任をはたすことにならないとして反対しました。

また、2006年度会計に対しての決算認定が行われましたが、日本共産党は、一般会計については、障害者自立支援法によるサービスの応益負担導入や家庭ごみ有料化で市民負担が増えたこと、新庁舎建設は聖域として市民の暮らしが厳しいにもかかわらず、基本設計を進めたことなどを理由に認定に反対しました。